

目次

- 1P…わらべ花壇の朝
撮影：神月祥江
みなみ会の活動報告
2P…ふるさとを想う
夢が叶う 坂部雄作
西脇発見
道の上古墳 藤原孝三
3P…ひと 亀井一郎さん
まち しばざくらと壁画でお迎え
4P…交流ルーム 見守り、寄り添う
サポーター 遠藤憂子
図書紹介
『てぶくろ』宮本真菜美
事務局から

みなみ会だより

第34号

2022年(令和4年)6月1日発行 つたえる部会編集

〒677-0054
西脇市野村町1795番地の8
西脇南中学校1F
地域交流ルーム内
TEL.0795-22-5151
FAX.0795-22-5152
E-mail:info@minami-kai.org
URL:<http://minami-kai.org>

 みなみ会

ご支援のお願い

みなみ会は公益性の高いNPO法人に認定された法人です。この認定基準の1つとして3口以上の賛助会員や3千円以上の寄付者数が、合わせて100人(件)以上が求められます。

みなみ会は多くの方々からご支援を賜っているため、北・東播磨地区で唯一の認定NPO法人になっています。

本年度も会員・寄付のお願いの時期になりました。皆様のご支援があって、地域の子どもやふる里西脇のためにつながる活動が可能となります。どうかご理解・ご協力をお願い申し上げます。

本紙折り込みの郵便局「払込取扱票」にて、ご支援を賜れば幸いに存じます。

2022年(令和4年)6月



わらべ花壇の朝 西脇市西脇（童子山公園）

童子山には、散歩を兼ねて趣味の写真を撮りによく出かけます。四季折々の花が、私の心を癒してくれます。とくに、花菖蒲の咲く初夏の頃、朝の陽射しを浴びながらの散歩は大好きです。

西脇シニアカレッジ写真講座生 神月 祥江

Miraie子育て事業 3,185人

令和3年4月1日から令和4年3月31までの228日間に参加した子どもの延べ人数です。みなみ会は、平日放課後、土日祭日は午前中に子どもを対象とした遊びや学習支援をおこなっています。担当するのは元小・中教員、兵教大学生、地元大学生です。緊急事態宣言発令により、4月25日～6月20日と8月20日～9月30日の2度休館となり、その間の活動は中止となりました。コロナが終息し、本来の姿に戻ること願っています。

今年度は平日放課後に来れない児童の皆さんに土日に参加できる内容はないかと検討しています。

来館者の皆様に。スタッフに気軽に声掛けをしてください。それをきっかけに何かが生れる予感がします。

なお、夏休み期間中は、Miraieをはじめ市内13会場で夏休みの学習支援をおこなっています。また、読書感想文講座を3会場で、絵画教室を2会場でおこなっています。例年6月中旬に案内をしております。



読書感想文講座 黒田庄地区会館

子ども支援に係わった兵庫教育大学生からの最後のメッセージ

—一緒に学ぶことができました— 長谷川 未来

3年間、お世話になりました。今日でMiraieへの支援に入るのは最後になります。ここで、子どもたちが放課後をどのような風にすごしているのか、学校での出来事をどう考えているのかなど、たくさんのこと学びました。子どもとの接しかた、コミュニケーションの取り方も自信が持てるようになりました。

今まで本当にありがとうございました。これからもみなみ会の支援が、子どもたち、そして係わる大人にとってステキな場所になることを祈っています。

今日は、毎週木曜日に来ている小6の女の子と過ごしました。学校での話をしたり雑談をしたりしてすごしました。今日で私が最後であることを伝えていたので、帰りぎわとってもさみしそうにしていました。この子たちにとって居心地のいい場所をつくれていたことがうれしかったです。

令和4年3月17日(木)

(ご本人は4月から相生市内の小学校で教員生活を歩みはじめられました。4面「交流ルーム」も参照してください)

ふるさとを想う



夢が叶う
坂部 雄作

高校卒業までの18年間と、大学卒業後には、学園留学をするまでの19ヶ月、私は西脇市岡崎町で過ごしました。ふるさと想う時、思い出すのは芳田小学校運動会です。この運動会で男性教諭が全力で保護者や生徒たちを追い抜いていく姿を見て、単純に「かっこいい！」と感じました。生徒たちと一緒に楽しみながら、しかも体を動かす事を職業とする「教師」を意識し始めたのは、この時からです。

西脇南中学校に進学後、陸上競技部に入部。恩師小宿先生に指導していただき、走幅跳で全国4位を獲得できました。しかし、夢だった「オリンピック出場」などほど遠く、天理大学では中途半端な成績しかあげることができませんでした。卒業後は、西脇市に帰郷し、ユニクロ・西脇店で働きながら、オーストラリア・AISでトレーニングを共にした選手にAlexがいました。

プロフィール
坂部 雄作 (さかべ ゆうさく)
昭和54年生れ。芳田小、西脇南中、社高校、天理大学卒。現大阪私立清風高等学校教諭。同中学高校陸上部顧問。全国大会優勝者を多数育成。現在リオ・オリンピック銅メダル芦田創 (トヨタ) のコーチ。元U18日本陸連強化コート。11月に兵庫県教育員会の案内板が設置されています。

月、私は西脇市岡崎町で過ごしました。ふるさと想う時、思い出すのは芳田小学校運動会です。この運動会で男性教諭が全力で保護者や生徒たちを追い抜いていく姿を見て、単純に「かっこいい！」と感じました。生徒たちと一緒に楽しみながら、しかも体を動かす事を職業とする「教師」を意識し始めたのは、この時からです。

そんな矢先に、2020東京オリンピック開催が決定。選手としては出場出来なかつたが、「オリンピックに携わりたい！」と思い、オリンピックの審判資格に合格。昨年行われた東京オリンピックの跳躍競技主審をやらせていただき、間接的ではあります。が、夢を叶える事が出来ました。

オリンピックはもう一つの夢を叶えてくれました。「昔、クラブチームAISでトレーニングを共にした Alex という選手がいて…」とオーストラリアのコーチに伝えたところ、その男性は「それは僕だよ！」と発言。2つ目の夢が叶いました。

何か行き詰った時や、新しい発想が生まれる時、西脇の新鮮な空気と深みある山々の景色が、心身のリセット促してくれます。そんな西脇市は、私には必要不可欠な存在です。

た。帰国後も連絡は取り合つていませんでしたが、そこから音信不通となり、彼とも連絡が取れなくなりました。

西脇発見 羽安町

日野地区の北部に旧JR鍛冶屋線の「はやす駅跡公園」があり、

その北西部に饅頭を伏せたよう

な山（通称アカ山）があり、そ

の山頂に「道の上古墳」が所在

しております。



古墳までの道筋を案内する事に致します。

「はやす駅跡公園」よ

り西に行き

ますと旧道（市原～中安田線）

に出ますので、右折（北方向）

をして

50m

行くと

十字路があ

ります。

カーブミラーの足下に「道

跡公園」よ

り西に行き

ます。

それ

を左

回ります。

ます。

道筋

案内

ます。

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。

道筋

案内

する事に致

します。

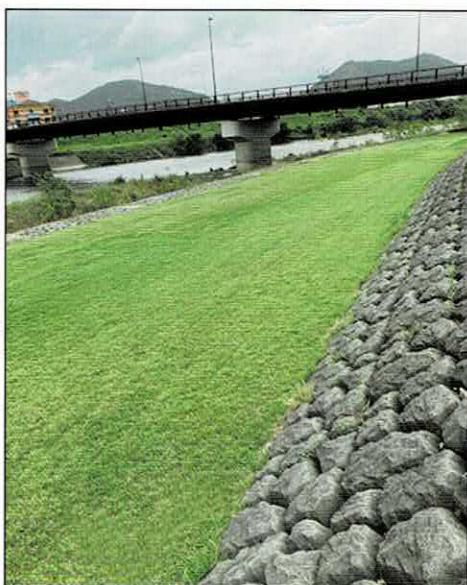
古墳まで

道筋を案内

する事に致

します。

ます。



ひと

芝生を守って9年
亀井一郎さん

ひ
生芝
井亀

平成16年10月、西脇市は台風23号で甚大な被害が出ました。加古川の川底掘削工事、そして重春橋、野村鉄橋等の架け替え工事が行われ、重春橋付近の護岸整備のあと、約9年前、河川

重 春橋下からJR加古川線
橋梁下までの河川敷に広
がる芝生が目にきます。こ
の芝生の維持・管理を続けて
9年になる和布町・亀井一郎
さんに芝生への思いを寄稿し
ていただきました。

重春橋下からJR加古川線

ております。

夏場は芝刈機による作業は最低月1回行うことと、雑草は手作業で草引きをして時間をかけています。これまでには、ついつい作業に夢中になりましたが、人生で初めて熱中症で意識をなくし、救急車で病院に運ばれたこともあります。困ったことは、雨の日に作業業者の無神経な芝生内走行で芝生が荒れ果ててしまい、修復作業をするようになりました。

願っております。特に西脇市は杉原川、野間川と3つの河川が合流している町です。地場産業にも必要な水、その周辺の自然環境をみんなが意識をもつて守っていく環境作りが必要だと感じております。

壁画は藤本糧穀（株）さんの
壁をお借りして、野村町を走
る加古川線や地場産業播州織
おかえりカエル、市の木のサ
クラ、加古川・野間川の清流
などをモチーフに西脇高校美
術部の皆さんのが心を込めて描
き上げてくれました。

また、壁画の下には、野村
町を花いっぱいにと3月末に
ガーデンボランティアしばざ
くらフルールさんの指導の下、

まち
平野口交差点



野村町まちづくり推進協議会が新型コロナウイルスの影響で地域交流が進んでいないことを受け、野村町と西脇市への愛着と誇りを育んでもらうと企画したものです。

しばやへりと壁画でお進み

野村町平野口交差点



西脇高校美術部員と関係者

町役員などが参加して、みんなで市花のシバザクラ1160株を植え付けました。ピンクや白、青紫の可愛い花が、織物を敷き詰めたように咲き誇っています。みなさんも、信号待ちの際は、ちよこつと眺めてみてください。
（野村町まちづくり推進協議会会長 前原義継）

NPO法人みなみ会を応援します。



社会福祉法人日野 日野こども園

幼稚園部
保育園部

一時保育・延長保育あり
保育時間／AM.7:00～PM.7:00
対象年齢／生後3ヶ月～就業前まで

〒677-0003 西脇市西田町 5-1
TEL. 0795-22-7023
FAX 0795-22-7159



NPO法人みなみ会、がんばってください!

一時・休日 学童も可
病児保育もOK!

★保育時間 AM.7:00～PM.7:30
★対象年齢 生後6週間～就学前



見守り、寄り添う サポーター

遠藤 豊子

この夏、私は多くの子ども達に茜が丘複合施設みらいえで平日放課後と土・日午前中におこなっている子どもたちへの学習支援サポートから、毎日の支援で気付いたことを、業務日誌で報告していました。たいへんです。

事務局では、サポートの皆さん

交流ルーム



日々みらいえで学習支援をされる中で気づいたことを取りまとめ、関係各所に連絡しています。この業務日誌は、みらいえがより気持ちよく過ごせる場所になるための重要なアイテムであると感じています。

外で鬼ごっこを楽しむ学生サポート、小さなお子さまを連れた親子と交流する元教員サポート、受験勉強に励む高校生の姿を見守るサポート。私は業務日誌を通して、みらいえを過ご

(みなみ会事務局スタッフ)

業務日誌

業務日誌	
（略）	
（略）	
（略）	
（略）	

この日の活動内容は1面右下欄にあります。

みなみ会は陰ながらお手伝いをしています。

立派な公共施設がある、それだけでは不十分な気がします。どんな施設も利用されてこそ、地域の方に愛されてこそ、その真価を發揮するのだと思います。みらいえには、見守り、寄り添うサポートがいます。大学生から元教員まで、年齢も経験も幅広く、頼りになるサポートです。

「みなみ会」のウエアを着たサポートを見かけたら、気軽に声をかけて下さい。きっと皆さんの力になれるはずです。

今年の12月20日にNPO法人みなみ会が発足してから10年を迎える運びとなりました。これまで多くの役員の方々のご尽力と関係機関や地域の皆さまからのご理解・ご協力があつたからこそ、継続してこれらたのだとつくづく感じています。発足当初は重春・野村・芳田地区の住民の方々にみなみ会の活動を知つていただくことから始め、地域の子どもたちの学習支援や生活支援を核として活動してきたことで、徐々に西脇市の他の地域の皆さんにもみなみ会の活動を知つてもらえるようになってきました。とは言ってもまだこれからも認知度を高めなければならないと考えています。ここ数年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により、十分な活動ができていませんことを大変

事務局から

残念に思つていますが、今年こそは、活動画面に盛り込んだ事業が全て実施できることを願つています。夏休みの読書感想文指導や絵画教室はもちろんのこと市内13か所で実施する「宿題をやつけよう」等、多くの児童生徒を巻き込んで子供たちの為に活動できることを願つています。

また、これまで3年間延期になつていて、脇忠之氏の教育講演会や新たなミニコンサートも令和5年1月と3月に計画しています。これからも地域の皆様のご支援をよろしくお願いします。

事務局長 西村 安正

豊かな心を育むきっかけに

『てぶくろ』

絵：エウゲニー・M・ラチョフ

訳：内田莉莎子

出版社：福音館書店

初版年月日：1965年11月1日



私がこの本を紹介する理由は、ウクライナ民話から生まれた絵本なので、多くの人に知つてもらひ、ウクライナの平和について考える機会をもつてほしいと考えたからです。

また、絵本は子どもだけでなく大人も物語に夢中になり楽しむことができるものだからです。

この本は、おじいさんが森の中に落とした片方の手袋の中に動物たちが次々と集まつてくるというシンプルなお話ですが、手袋に入れてほしいとやってくる動物が次第に大きくなるので、「手袋がはちきれそうだけれど入れるのかなあ」、「おじいさんが手袋を探しに戻ってきたら動物はどうなるのかなあ」とドキドキしたり、動物たちが手袋の中で仲良く過ごす姿にほっこりしたり、様々な視点で物語を楽しんだりすることができます。また、動物た

ちが着ている服は「ウクライナの素敵な民族衣装をイメージして描かれたのかな」と想像したり、手袋に窓やはしごをつけて「まるでお家のようになっているところが面白いなあ」と感じたり、絵に着目して読むとまた違った楽しみ方ができます。

戦争のニュースを見ると暗い気持ちになるし、自分にはどうにもできないもどかしさを感じ、どうしても目を背けがちになつてしまう人が多いと思います。しかし、多種多様な動物たちが1つの手袋の中で仲良く暮らすといったこのお話をどのように平和な世の中になることを祈つて、様々な世代の人にこの絵本を楽しんでもらえたらいいなと思います。コロナ禍でお家時間が増えたという人も、ぜひ図書館に足を運び、自分のお気に入りの一冊を見てみてください。

宮本 真菜美（学生サポーター、神戸親和女子大3回生）